

第6代九州地方会会長挨拶

日本小児歯科学会九州地方会 創立30周年を祝して

福岡歯科大学 名誉教授 **本 川 渉**
(第6代会長 平成12年4月～平成14年3月)



日本小児歯科学会九州地方会創立30周年誠におめでとうございます。
地方会設立当初から地方会の発展を見てきました私としましては、30年が過ぎたことを考えると感無量です。

昭和48年4月に西日本で唯一の小児歯科学教室として福岡歯科大学に小児歯科学教室が開講し、吉田名誉教授が初代教授として赴任されました。小児歯科医療の啓発のために昭和52年6月に当教室が中心となり「西日本小児歯科学研究会」を発足させました。主に九州の先生方を中心に約100名のメンバーからなり、各種研修会を開催しました。ついで広島大学に小児歯科学講座が開講されましたので「西日本小児歯科学研究会」の名称を「九州小児歯科集談会」と変更しました。九州大学、九州歯科大学に小児歯科学教室が開講され、日本小児歯科学会九州地方会の設立へと進んで行きました。したがって、「九州小児歯科集談会」のメンバーの先生方の多くが、九州地方会設立当初の会員として名を連ねておられました。

初代地方会会長として吉田教授が就任されました。私は吉田教授の退職後、2代目教授として教室を主宰することになり、平成12年4月から2年間第6代目の地方会会長として、微力ながら地方会の発展に貢献する機会を与えていただきました。その際、ご協力いただいた九州各県代表の役員の先生方ならびに会員の皆様に厚くお礼申し上げます。私の後任として会長に就任された教室のOBである故瀬尾令士先生が九州地方会で初めて開業医から会長になり、大いにリーダーシップを発揮し、地方会の発展に多大な貢献をされました。また丁度、地方会創立20年にあたり、地方会創立20周年記念誌を発行されました。本当に瀬尾先生の早いご逝去は九州地方会にとりまして、大きな損失であったと思います。

九州地区の大学も2,3代目の教授と移り変わり地方会の構成メンバーも変化していると思いますが、さらに大学と開業医の先生方との連携を密に、お互いが協力し合って発展していくよう心からお祈り申し上げます。